

令和4年度 プレジャーボート全国実態調査結果の公表について

1 要旨・目的

令和4年度に実施された「プレジャーボート全国実態調査」について、令和5年8月28日に調査結果が公表されたので報告する。

2 現状・背景

本調査は、国土交通省（港湾局及び水管理・国土保全局）並びに水産庁によって、全国のプレジャーボートの実態を網羅的に把握するため、概ね4年に1回実施されており、今回が7回目の調査となる。

3 概要

(1) 調査対象

港湾区域、河川区域、漁港区域及び当該水域近傍の水域と陸域におけるプレジャーボート

(2) 調査期間

令和4年9月～10月

(3) 調査結果

ア 全国

区 分	R4 調査結果 (A)	前回調査結果 (H30) (B)	差 引 (A－B)	前回比 (A÷B)
プレジャーボート総数	144,796 隻	160,236 隻	△15,440 隻	90.4%
うち放置艇数	56,104 隻	70,191 隻	△14,087 隻	79.9%
放置艇率	38.7%	43.8%	△5.1ポイント	—

イ 広島県全域

区 分	R4 調査結果 (A)	前回調査結果 (H30) (B)	差 引 (A－B)	前回比 (A÷B)
プレジャーボート総数	13,324 隻	14,307 隻	△983 隻	93.1%
うち放置艇数	8,359 隻	10,687 隻	△2,328 隻	78.2%
放置艇率	62.7%	74.7%	△12.0ポイント	—

ウ 順位

順位	プレジャーボート総数		放 置 艇 数		放 置 艇 率	
1位	広島県	13,324 隻	広島県	8,359 隻	岐阜県	85.2%
2位	岡山県	9,012 隻	岡山県	5,788 隻	徳島県	72.4%
3位	兵庫県	7,102 隻	愛媛県	3,788 隻	島根県	69.2%
4位	神奈川県	7,070 隻	鹿児島県	2,845 隻	栃木県	66.2%
5位	静岡県	6,523 隻	長崎県	2,548 隻	岡山県	64.2%

プレジャーボート総数及び放置艇数の上位は、静穏な海域が多い瀬戸内海に接する県が多い。

(4) 結果分析

ア 全国のプレジャーボート総数及び放置艇数について

(ア) プレジャーボート総数においては、許可艇、放置艇ともに減少しており、特に、放置艇の削減によるところが大きく、約15,000隻の減少となっている。

(イ) 放置艇数は、約 14,000 隻減少しており、マリーナ等以外の係留保管場所への保管が増えたことや放置艇の廃棄処分が進んだことが削減の要因と推察される。

イ 広島県のプレジャーボート総数及び放置艇数について

(ア) プレジャーボート総数は、所有者の高齢化及び放置艇対策の実施による自主撤去により、約 1,000 隻減少している。

(イ) 放置艇数は、上記要因による自主撤去の他、小型船舶用泊地の使用許可による許可艇への転換により、約 2,300 隻減少している。

(5) 今後の対応

国土交通省（港湾局）を事務局とし、有識者や行政関係者からなる「プレジャーボートの放置艇対策の推進に向けた検討会」において、今後の放置艇対策に関する方針が検討される予定であり、令和 5 年 9 月 4 日に開催予定の第 1 回検討会を含め、全国的な放置艇対策の動きを注視していく。